
第4部 実現に向けて

都市計画マスタープランの実現に向けて

本都市計画マスタープランは第5次延岡市長期総合計画（平成23年～27年）における都市像「市民力・地域力・都市力が躍動するまちのべおか」を具体化するため、平成39年度を目標としたまちづくりの基本方針を定めたものです。

市民と行政が協働してまちづくりを進めていくための基本的な目標・理念を示す計画として、市民意向調査の結果を反映させ、土地利用の方針、都市施設並びに環境に関する整備や保全、また防災や景観に関する方針など、将来の都市のイメージについて示しています。

都市計画マスタープランは都市計画分野に関する計画であり、空間の利用や道路、公園などの都市施設に関して具体的な方針を示したものとして位置づけられますが、その内容をまちづくりとして実現していく過程においては、都市施設の計画に限定することなく、福祉や教育、産業、環境といったソフト的な面も含めたものとして捉えることが必要となってきました。

そのため、本市としては本都市計画マスタープランを指針として、都市機能の集約や、環境負荷の低減など、人口減少、超高齢化社会に対応したまちづくりに向けて、都市計画決定・変更並びに現行法制度に基づく規制・誘導を行うとともに、都市計画制度の枠組みだけに留まらず、全市的なハード、ソフトを含めた各種施策との連携に努め、まちづくりに関する各種プロジェクトとの整合を図っていきます。

さらに、本都市計画マスタープランにおけるまちづくりの基本的な方針をホームページやパンフレット等により、広く市民にわかりやすい形で示すことにより、「市民参加のまちづくり」を推進するとともに、都市計画提案制度などにより、市民から提案された都市計画の決定・変更の適否を判断する基準として本マスタープランを活用し、具体的な都市計画の決定・変更を通じて本マスタープランの実現を図っていきます。

延岡市は今後とも東九州の基幹都市として広域的な役割と責務を果たしていくことが求められており、将来都市像の実現に努めていくことが重要です。

都市づくりは、長期的な視点のもとに進めていくことが必要であることから、都市計画マスタープランの目標を15年後としています。しかし、社会経済情勢の変化や都市が抱える課題の変化などにより、計画の内容が実態と乖離していくことも予想されます。

特に、高速道路の開通などによる社会情勢の変化を受け、今回実施した市民アンケートにあります(問2)「現在、あなたがお住まいの地域について、満足度と重要度」に関し、市民意識の変化が想定されます。そのため、概ね5年を目処にこの項目について再度アンケートを実施することにより、本計画の検証を行い、それらの結果を基に様々な状況の変化に対応していくため、必要に応じて本マスタープランの見直しを図っていきます。

これらのことを踏まえ、社会情勢の変化に対応した適正な土地利用の規制・誘導、市民や関係機関との連携、各種事業の計画的な実施等により、「水とみどりの豊かな自然を守り、潤いと賑わいに満ちた東九州拠点都市」の実現を目指します。

現在、あなたがお住まいの地区について、満足度と重要度

アンケートによる評価項目		満足度 「高い」 または 「やや高い」	普通	合計
1	日当たりや見晴らしのよさ	48%	34%	82%
2	工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性	47%	30%	78%
3	密集した住宅などの火災に対する安全性	27%	48%	75%
4	街並みの美しさ	20%	56%	76%
5	自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ	40%	44%	83%
6	日常の買い物の利便性	38%	31%	69%
7	働く場所の充実度	8%	36%	44%
8	周辺市町・各地区を結ぶ道路の走りやすさ	20%	45%	65%
9	身近な生活道路の走りやすさ	19%	51%	70%
10	歩道の歩きやすさ	17%	45%	61%
11	自転車の走りやすさ	11%	39%	51%
12	鉄道の利便性	8%	26%	35%
13	バスの利便性	13%	25%	39%
14	身近に利用できる公園の充実度	16%	33%	49%
15	休日に家族で過ごせる大きな公園の充実度	8%	26%	34%
16	生活排水対策（公共下水道、浄化槽等）	37%	47%	84%
17	上水道の水質や水の出具合など	38%	56%	94%
18	公営住宅の配置や充実度	13%	65%	78%
19	ごみ処理の方法	31%	58%	89%
20	港湾や河川など、水との親しみやすさ	19%	50%	69%
21	河川の氾濫や洪水など、水害に対する安全性	21%	36%	57%
22	避難場所や避難路のわかりやすさや充実度	13%	45%	58%
23	消防、防災設備や地区防災体制の充実度	13%	57%	71%
24	人にやさしいまちづくり環境の充実度	8%	56%	64%
25	市民がまちづくりへ参加できる環境の充実度	6%	55%	60%
26	総合的な暮らしやすさ	24%	58%	82%

上記の結果は、平成23年11月から12月にかけて、おこなったアンケート調査の結果です。

これらの項目について、社会情勢の変化を考慮し概ね5年ごとにアンケート調査を実施することにより、この計画の検証をおこない、必要に応じて本計画の見直しをおこなうこととします。

